

科目名	健康・医療心理学		担当教員	成田 絵史	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2SPS315
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	臨床心理士・公認心理師				
実務経験を生かした授業内容	臨床心理士・公認心理師としての勤務経験を活かし、医療やその他の対人援助場面において望まれる支援について講義する。				
到達目標及びテーマ	公認心理師、心理的支援に関係する職業に求められる健康・医療心理学についての基礎的な知識を習得し、望まれる支援の在り方について考察することができるようになる。				
授業の概要	健康・医療心理学の基礎的な知識を学び、健康保健や医療分野において求められる支援とは何か自ら考察する。また、対人援助職としての姿勢を学ぶ。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション なぜ健康・医療心理学を学ぶのか
第2回	ストレスに関する基礎理解
第3回	ストレスに関する諸問題と心理的介入
第4回	医療心理学－医療における心理的支援の役割について－
第5回	医療心理学－病を抱えながら生きることをめぐって－
第6回	医療心理学－精神疾患をめぐって－
第7回	医療心理学－精神科における治療－
第8回	医療心理学－現代社会におけるこころの健康に関する諸課題と心理的支援の役割－
第9回	ライフサイクルからの健康・医療心理学：周産期、小児の地域保健
第10回	ライフサイクルからの健康・医療心理学：思春期・青年期のこころの健康
第11回	ライフサイクルからの健康・医療心理学：成人－家庭、母子保健－
第12回	ライフサイクルからの健康・医療心理学：成人－働くこと、産業保健－
第13回	ライフサイクルからの健康・医療心理学：老年期のこころの健康と地域保健
第14回	災害時の心理的支援
第15回	授業全体の総括と学習到達度の確認試験

事前学修	2時間	次回の講義内容をめぐって知っていること、イメージをまとめ、書籍やインターネットなどを用いて調べる。また、授業前に資料がある場合はそれを熟読する。
事後学修	2時間	講義の内容をふりかえり、重要点や自分の考えをまとめる。自分が関心を持ったキーワードなどを調べて理解を広げる。
フィードバックの方法	講義内容や小課題（毎回講義終了時に提出するふりかえりシート等）について、希望があればフィードバックの機会を設ける。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	100%	授業内に課す小課題への取り組み(20%)、確認試験(80%)により評価する
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし プリントを配布	なし	なし	なし	なし
参考資料	講義内で適宜紹介する。			